



# かながわの交通

2012  
12

## 無事故で年末 笑顔で新年

### 年末の交通事故防止運動12月11日(火)~20日(木)

## 平成24年 交通安全功労者表彰式



表彰式に臨む石坂会長

ハンドルキーパー運動推進中!

**飲酒運転根絶!!**

今日のハンドルキーパーさんは?

◎県内の交通事故発生概況(11月末現在)

◎県人口・運転免許人口

年別	区分	発生件数	死者数	傷者数		総数	男	女
平成24年		33,639	157	40,004	県人口	9,075,474	4,546,108	4,529,366
平成23年		35,239	156	42,082	免許人口	5,536,852	3,222,682	2,314,170
増減数		-1,600	+1	-2,078	割合	1.6人に1人	1.4人に1人	2.0人に1人
増減率		-4.5	+0.6	-4.9				

(県人口は平成24年11月1日、免許人口は平成24年10月末現在)

平成24年交通安全功労者表彰式

1,953人と241団体が受賞

平成24年交通安全功労者表彰式が11月22日(木)、横浜市西区の県立音楽堂で行われました。受賞者は、1,953人と241団体でした。紙面の都合で警察本部長と県交通安全協会会長の連名表彰受賞者の方々を紹介しませぬ。(敬称略)

受賞者(団体)の皆様おめでとうございます。

◆交通安全功労者(146人)

- 大船 高田辰二  
加賀町 松澤秀夫  
山手 青木章光  
金沢 榎本英雄、大村勉、齋藤一郎、戸室清  
伊勢佐木 岩崎 孝、高田信一  
神奈川 宮澤光男  
鶴見 山中勝美  
緑河原進一  
青葉 吉村正夫、井上正平、守屋輝一、高村栄一、工藤幸弘  
都筑 寺島 勉、角田菊男、角田義一、高井正承



交通安全功労者受賞者代表・高田さん=大船(左)

- 松本正雄、岡本誠一、中山清  
戸塚 森 久夫  
栄山 山本正行  
瀬谷 石井茂雄、相原保、小田桐 勇、相澤庸隆、西村和己  
川崎 太田弘志、藤野俊  
川崎臨港 須山康成  
高津 島崎光順、中山清、鈴木 豊、森 清行、菅原利三  
宮前 伊藤 昇、岸井利夫、持田清二、吉田浩之  
麻生 志村健二、尾作智哉  
浦賀 角田恭啓、木村

- 正吉 三浦市 宮川利一  
葉山町 須藤謙典  
逗子市 千葉弘幸  
大船 鈴木邦子  
藤沢市 小林 実、三贅和夫、山下康夫、高田弘之、佐藤貴久、山口幸雄、森井隆夫  
藤沢北 澁谷 順、杉山昌信、露木正雄、斎藤和子、田平 実  
茅ヶ崎地区 川島一幸  
平塚市 齋木潤一、飯田伊輔、森 茂、田邊義和、金子俊之、久保田雅文、福山孝廣、玉垣正治、高橋政好、猪俣文彦、府川大作、藤原政信、高村忠夫、小林広之、安藤育子、柏木美知子、原田玉美  
小田原 長谷川弘治、山田晃司、浅見文男、竹下 港、中丸富夫、鈴木八郎、鈴木一行、添田 武、安藤 隆、白井栄司、加藤隆司、松本健次、大川 進、濱野藤男、田中典幸、勝又 實、笠原政司  
秦野市 山口伸司、豊田清臣、相原孝司、山口照男、牛村 昭、志村ハル子、栗原幸長、井上太刀男  
伊勢原 山本 裕  
厚木警察管内 一見良雄、小嶋吉明、柳下巨弘、佐藤

平成24年交通安全功労者表彰受賞者

表彰者	表彰の種類	受賞者数
神奈川県知事	交通安全功労者(個人)	50
	交通安全功労者(団体)	20
神奈川県公安委員会	交通安全功労者(個人)	10
	交通安全功労者(団体)	10
神奈川県警察本部長	交通安全協力者(個人)	75
	交通安全協力者(団体)	25
	優良運転者(事業用)	84
神奈川県警察本部長・(公財)神奈川県交通安全協会会長(連名)	優良運転者(自家用)	72
	交通安全功労者	146
	優良運転者	352
(公財)神奈川県交通安全協会会長	交通安全功労者	155
	交通安全優良団体	37
	優良運転者(20年)	156
神奈川県警察本部長・(社)神奈川県安全運転管理者連合会	優良運転者(15年)	596
	交通安全功労者	14
	優良安全運転管理者	40
(社)神奈川県安全運転管理者連合会	優良運転者	44
	安全運転管理優良事業所	71
	優良安全運転管理者会	3
計	交通安全功労者	21
	優良安全運転管理者	55
	優良運転者	83
計	安全運転管理優良事業所	75
	個人小計	1,953
	団体小計	241
合計		2,194

◆優良運転者(352人)

- 信雄 津久井 山崎敏生  
川崎臨港 大川原古都枝  
加賀町 今井則平、河嶋清、吉井勇治、藤井銀一郎、猪股治人、相澤光弘、横溝祐吉、齋藤 実、坂部省三  
山手 西山吉男  
磯子 茜屋昭子、井上美之、内藤正明、鈴木政喜  
金沢 大森 浩、村上安弘、重田裕司、岡島忠弘、川辺弘幸、小川一二  
南 納谷秋代、宇恵義昭、河村信孝、工藤順二、後藤あゆみ、眞島 正、後藤利衣子  
伊勢佐木 唐嶋実、濱知博、菅原文博

戸部 福井紘一、戸來頼信、野沢政雄、関野美津夫、鶴見 斎藤忠二、田中ユリ子、藤田 洋、前原利夫、丸地秀夫  
 保土ヶ谷 望月房子、佐藤久夫、西原雅子、山手武志、旭 野口喜雄、鯉沼敬三、金子賢一、武藤百介  
 港 南 長島政男、牧野高明、成田 洋  
 港 北 新井勇二、柴田橋養助  
 緑 井澤宏実、北野正子、小久保新一、小久保徳子、相原征雄、児玉雄石、西岡孝之、吉橋重行、橋本孝治、中山 香、上野達男、前田秀樹、岩橋 清  
 青 葉 茅野賢一、森正広、山崎三鶴、坪井 昭、下間康孝、飯田仁彦  
 都 筑 堀口 進、舟根妙子、本田俊夫、城田栄一、浅田幸彦、腰原 優、鈴木富士夫  
 戸 塚 加藤康夫、村上隆義  
 栄 尾崎 幹、佐野五月、酒井重剛、石川哲彌  
 泉 渡辺 浩、早川幸代、小林フジ子、長友ふさえ、鎌田辰雄  
 瀬 谷 高橋清一  
 川 崎 木島俊雄、千葉清記、石田俊壽  
 川崎臨港 木村正夫、鈴木

定治、河本 勇、吉沼 博、藤田政義、本多達義  
 幸 磯 芳房、加藤邦彦、加賀見幹夫、曾根盛次  
 中 原 佐藤 功、露崎義雄、新留健一、阿部 清、今井康之、五十嵐由美、大金幸子  
 高 津 石田 博、小俣直道、荻島紀子、勝田正之助、伊藤文夫、和田 保、明前芳江、中山幸子、志貫田孝和、坂田旭子、皆川正義、関戸照明、小敷賀 宏、鹿島好子、高橋由美子  
 宮 前 植木一夫、大場光俊、菊地 眞、鈴木功一、岩川年雄、加藤保春、新保忠能、吉田孝平、小川 保多 摩 阿部初見、磯村小百合、小倉とし子、北見ひづる、小林功人、佐々木



優良運転者(20年)受賞者代表・大川原さん＝川崎臨港(左)

郁芳、柴田順一、杉山静男、仁平高義、根本政夫、舟木昭秋、若山恒夫  
 麻 生 富沢昭夫、関 姓、浅原義久、佐伯淳子、杉本孝、竹尾郁子、中原幸一、伊藤洋、樋口文男、神尾忠義  
 横 須 賀 川山 香、鈴木惟司、藤田信行、菱沼幸夫、宮川久子、高山洋一、田原末安、小沢 厚、鈴木啓子、高島好尋、高橋伸光  
 田 浦 安永良夫、和田哲磨  
 浦 賀 土田 昇、星川春信、金子光次、鈴木和行、豊田富美子、長島康夫、藤井秀幸、長島久勝、宮森昭行、富田晋弘、諏訪 勝、渡邊健郎、山崎照雄、武石辰夫、小山昌男、加藤治彦、佐藤洋一、山田進男、佐藤静夫、山内美喜男、石澤ヒサ子  
 三 浦 市 栗原俊一、新倉仙太郎、鈴木要次  
 葉 山 町 根岸 稔、行谷幸司、山田英夫  
 逗 子 市 林 則隆、飯島洋司  
 鎌 倉 岩澤 亨、鎌田恒男、菊地 馨、見上久夫  
 藤 沢 市 小澤寅吉、青木公男、北脇陽敏  
 藤 沢 北 長瀬日出夫、金子匡三、北田ミエ子、菅原

養子、佐藤 清、扇谷知子、佐藤正男、水竹美喜子  
 茅ヶ崎地区 篠原良子、須田多俊、亀井よ祢子、枝村清子  
 平塚市 田辺 守、西盛茂夫、田中 博、森口政子、戸田道生、早野元司、臼井一昭、石原憲、鈴木哲也、佐藤由美子、佐々木康男、佐々木 剛、小林勇一、小泉達也、田中寿幸  
 大磯地区 箕島源一郎  
 小 田 原 河岡洋子、小瀬村一弘、塚田洋一、岩瀬治、美濃島孝行、多田芳雄、下田義雄、中島 隆、櫻井徳樹、市川 修、椎野 進、小池良平、清水水良照、池田治好、原井貞巳、村田美智子、北村 博、鈴木かつゑ、神野満紀、小野新三、阿部美代子、大沼 睦  
 足 柄 鶴田英次、渡邊武規、渡辺ヒデ子、府川嗣、野村美江、清野壽子、高嶋佳子  
 秦 野 市 早野和之、萩原典男、石川真治  
 伊 勢 原 石井榮二  
 厚木警察署管内 高橋美都子  
 小谷野誠一、川田茂夫、小谷野恒雄、野本幸雄、石井耕二、笹生光雄、関口 昇、阪口秀子、酒居忠昭、横山惠、原田定行、根岸猛夫、

滝波昭男、鈴木新一、清水浩美、本多博美  
 大和綾瀬 木村富二、吉村信夫、原田利光、青木 長、赤池紀子、勝山 認、高田博、内山雅子、佐藤フズ子、鏡 良雄、大野利夫、平岡初美、新倉 繁、石井 朗  
 座 間 鈴木タカ子、名井貞子、武井ヨシ子、高橋良和、米野栄子、小野正枝、浦 高光、和田悦子、村岡くに子、樋口和廣、菅原清隆、野島義雄、田中博善  
 海老名市 飯田信男、森谷邦夫、松島はしめ、山井栄之丞、福田隆一、岩元勝己、米本清二、北島 巖、倉橋茂徳、杉崎 操、橋本守男、坪井道子、曾田利夫、片山和雄、藤田正男  
 相 模 原 舛澤忠志、木暮勇、山澤忠治、日景清隆、奥村才治良、中村 薫、岡本勝良、森 研兒、大石真理子、和田大介、中川美喜、岩崎玉江  
 相模原南 中島和則  
 相模原北 小島正男、萩生田重雄、北川和男、細谷一郎、山崎好子、大湖英夫、霧生次雄  
 津 久 井 岡野 裕、小田澄夫、押田一夫、佐藤九内、三橋光子、和智久美子

● 実施期間

平成24年12月11日（火）～12月20日（木）の10日間

● 目的

年末特有の交通量や飲酒の機会の増加などにより、交通事故が多発することから、県民一人ひとりが交通安全について考え、交通ルールの遵守と交通マナーの向上に取り組むことを通じて、交通事故防止の徹底を図ります。

● スローガン

無事故で年末 笑顔で新年

● 重点

- 1 飲酒運転の根絶
- 2 歩行者（特に高齢者）と自転車の交通事故防止
- 3 全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

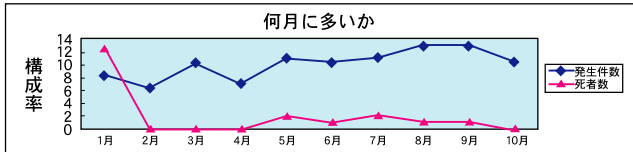
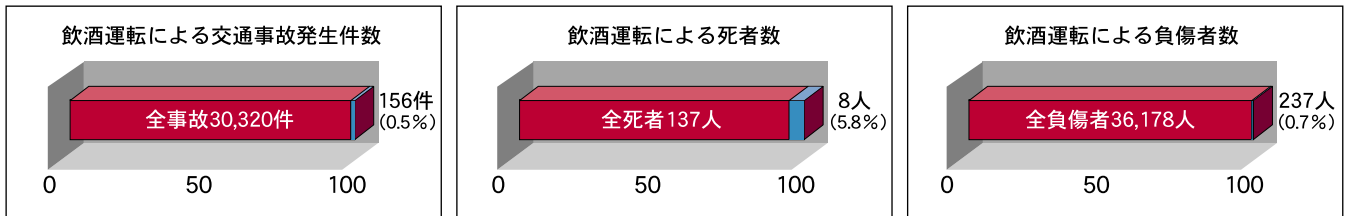
年末の交通事故防止運動

● 交通安全協会の推進事項

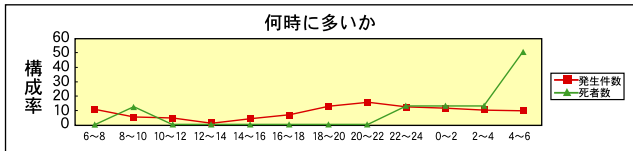
- ・ ハンドルキーパー運動をドライバーや飲食店等に対して積極的に働きかけるなど、飲酒運転の根絶を呼びかけます。
- ・ キャンペーンやイベントなどの開催により、運動への参加・協力を呼びかけるほか、地域や職場等での自主的な活動や交通安全講習会への積極的な参加を働きかけます。
- ・ 交通指導員や各種団体構成員による街角アドバイスを積極的に実施し、「交通安全のひとこえ運動」を推進します。



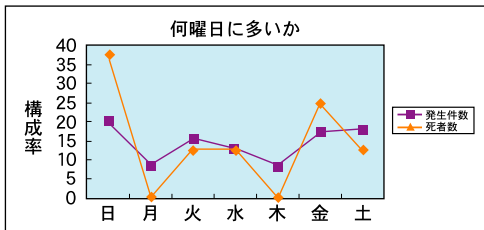
～県内の飲酒運転交通事故発生状況～（平成24年10月末現在）



	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	合計
発生件数	13	10	16	11	17	16	17	20	20	16	156
構成率	8.3	6.4	10.3	7.1	10.9	10.3	10.9	12.8	12.8	10.3	100
死者数	1	0	0	0	2	1	2	1	1	0	8
構成率	12.5	0	0	0	25	12.5	25	12.5	12.5	0	100
負傷者数	18	21	24	16	22	25	28	32	25	26	237
構成率	7.6	8.9	10.1	6.8	9.3	10.5	11.8	13.5	10.5	11	100



	6~8	8~10	10~12	12~14	14~16	16~18	18~20	20~22	22~24	0~2	2~4	4~6	合計
発生件数	17	8	7	2	6	10	19	23	18	17	15	14	156
構成率	10.9	5.1	4.5	1.3	3.8	6.4	12.2	14.7	11.5	10.9	9.6	9	100
死者数	0	1	0	0	0	0	0	0	1	1	1	4	8
構成率	0	12.5	0	0	0	0	0	0	12.5	12.5	12.5	50	100
負傷者数	23	9	13	2	12	13	30	39	24	26	23	23	237
構成率	9.7	3.8	5.5	0.8	5.1	5.5	12.7	16.5	10.1	11	9.7	9.7	100



	日	月	火	水	木	金	土	合計
発生件数	31	13	24	20	13	27	28	156
構成率	19.9	8.3	15.4	12.8	8.3	17.3	17.9	100
死者数	3	0	1	1	0	2	1	8
構成率	37.5	0	12.5	12.5	0	25	12.5	100

（県警交通部資料から）

賛助会員のご紹介

神奈川県交通安全協会では、「交通事故のない安全で安心な地域社会の実現」を目指し、さらなる公益性の高い交通安全事業を推進しています。このコーナーでは、従前から賛助会員としてご協力をいただいている企業等を順次ご紹介しています。

- (株) 横浜高島屋 —— 横浜市西区南幸
- 神奈川トヨタ自動車(株) —— 横浜市神奈川区栄町
- 新栄運輸(株) —— 横浜市鶴見区平安町
- 松浦企業(株) —— 横浜市鶴見区寛政町
- 萬運輸(株) —— 横浜市鶴見区駒岡

●●●●● 食堂・売店の御利用を ●●●●●

ご存知ですか？

運転免許試験場（横浜市旭区）の1階に食堂と売店があります。食堂は、ランチタイムを中心に来場者からご好評をいただいております。売店では、清涼飲料水や菓子類のほか、特にここ運転免許試験場ならではのパトカーや白バイのミニチュア、ストラップ、キーホルダー等各種警察小物グッズが人気です。お子さんやお友達へのおみやげにどうぞ！

御利用できる時間

- 売店 → 7:30～17:00
- 食堂 → 8:00～15:30



タイムマシンのあけたい

27

警察官から見た交通事故の回顧録

花束からのメッセージ

私は花です。だけど、地面に咲いているわけではなくて、ずっと枯れません。

何年か前から、この自動車しか通らない広い道路の脇に添えられています。

私がここに添えられたとき、辺りには何かのかけらや粉みたいなのが、キラキラと散らばっていて、広い道の真ん中から私の方に向かって何か黒い痕が伸びていました。今もうっすらと残っています。

前は、他にもたくさんのお花やビンとかが添えられていたのに、今は私だけになってしまったみたいです。

女の人が私のことを指さしながら、大きな機械をかついだ人に向かって何かをしゃべっていたことも、何回かあったけど、何日かしたら、誰も来なくなりました。

あれから15年が経って、私はまだ道端に添えられています。毎日毎日すごい速さで目の前を走り去る車を眺めています。



そんなある日のこと。この日は、照りつける日差しの下、車が道路にびっしりと並んでいて、ノロノロと進んでいました。

すると、1台のワゴン車の後の席から、小さな男の子が、私を見つけて目を見張りました。私をじっと見てから、前の席にいた大人の人に何か話しかけていました。

走り去る車の窓越しに、男の子はずっと私を振り返っていました。遠ざかっても、車の後の窓に男の子の顔が見えました。だから、わたしもずっと男の子を見送りました。

どうして私がここに添えられたのか、添えられたままなのか、私はよくわからないけど、もともとみんな私の存在に気づいてほしいです。

※ 平成25年2月号からは、財団法人東京交通安全協会のご協力により同協会が編集発行する「贖いの日々」から交通刑務所服役者の手記を転載予定です。

藍綬褒章に輝く《港南交通安全協会会長 高森政雄氏》

このたび、交通安全を通じて公共の利益に尽力・貢献したことにより、県交通安全協会理事でもある高森政雄氏が藍綬褒章の栄誉に輝きました。

同氏は昭和44年に南交通安全協会から分離した港南交通安全協会が発足するよりも以前から交通安全活動に従事しており、昭和47年には港南交通安全協会理事、昭和62年から同会長に就任し、各季の交通安全運動はじめ交通安全思想の普及・啓蒙活動に尽力したほか、平成5年からは県交通安全協会の評議員、平成13年からは同理事としても交通安全活動に貢献し、その間、交通安全功労により警察本部長、県知事、全日本交通安全協会会長・警察庁長官連名等の各種表彰を受賞しています。



二輪車安全運転・自転車安全教育推進委員会の開催

11月16日(金)県協会会館において、二輪車安全運転推進委員会(14:00～)及び自転車安全教育推進委員会(15:00～)が開催されました。

両委員会とも高橋委員長の挨拶に続き、県警本部交通総務課担当者から増加傾向にある交通死亡事故、特に自転車及び二輪車の関係する事故の実態について説明があり、次いで委員会事務局から平成24年中の所管業務の取り組み状況等が報告された後、出席した県(くらし安全交通課)、横浜市、川崎市、相模原市の委員により「自転車の安全利用」、「二輪車の交通事故防止対策」、「委員会の今後の取り組み」などについて、活発な意見交換が行われました。



湘南地区交通安全協会連合会合同研修会

湘南地区交通安全協会連合会(協環会長)では、11月18日から19日にかけて同連合会の理事・評議員及び事務長の合同研修会を長野県飯田市において開催しました。

バスによる強行日程での研修でしたが、諏訪大社にて各地区協会ごとの「交通安全祈願」を行った後、研修では、県交通安全協会から参加した高橋専務理事が各地区における交通ボランティア活動に対する敬意と感謝の気持ちを表したうえ、各地区の個別の交通安全活動に話を展開すると、各役員や事務長からも協会の運営方針、ボランティア活動のあり方等について苦労話や笑い話を交えた活発な意見交換が行われました。

また、最後には開通して間もない「新東名高速道路」の最新の安全対策について説明を受けるなど有意義な研修となり、連合会内の一層の融和団結を図ることができました。





# ハンドルキーパー運動の紹介

## その266 平塚市交通安全協会

平塚市交通安全協会(川口淳会長)では、平塚駅南口周辺の飲食店を訪問し、ポスターや「飲酒運転追放」ステッカーなどを配布しながらハンドルキーパー運動の実践等による飲酒運転の根絶を呼びかけました。



## その265 金沢交通安全協会

金沢交通安全協会(横井正巳会長)では、海の公園で開催された区民が集う「いきいきフェスタ」において、飲酒体験ゴーグルを装着してライン歩行を行うなど、飲酒運転根絶、ハンドルキーパーの実践を呼びかけました。



## その268 津久井交通安全協会

津久井交通安全協会(諸角光雄会長)では、城山もみじまつり会場において、交通安全フェアを開催し、来場者に飲酒運転ゴーグルを装着して歩行してもらうなど飲酒運転疑似体験を通じて、飲酒運転の危険性を訴え、飲酒時のハンドルキーパーの確保等ハンドルキーパー実践キャンペーンを展開しました。



## その267 大和綾瀬交通安全協会

大和綾瀬交通安全協会(古郡保正会長)では、大和駅プロムナードの大和産業フェア会場において、交通安全コーナーを設けて飲酒クイズを行うなど飲酒運転根絶キャンペーンを行い、ハンドルキーパー運動を呼びかけました。



## インフォメーション

### ● 年末年始の試験コース開放等のご案内【県交通安全協会】

平成24年12月					平成25年1月											
22	23	24	25~28	29	30	31	1	2	3	4	5	6	7~11	12	13	14
土	日	月	火~金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月~金	土	日	月
練習休止	コース開放	コース開放	受付業務	休日 (受付・コース開放休止)			受付業務	コース開放	練習休止	受付業務	コース開放	練習休止	コース開放	練習休止	コース開放	

### ● 年末年始の運転免許手続きのご案内【県警運転免許本部】

～ 年内は12月28日(金)まで 新年は1月4日(金)から ～

平成24年12月				平成25年1月			
28	29	30	31	1	2	3	4
金	土	日	月	火	水	木	金
通常業務最終日				通常業務開始日			
← 休日 業務休止 →							

注① 平成24年12月29日(土)から平成25年1月3日(木)までの間に運転免許証の有効期間(誕生日の1ヵ月後)が満了する方は、平成25年1月4日(金)まで有効です。  
 ② 年末年始は大変混雑します。手続きはお早め!  
 ご来場の際は、電車やバスなどの交通機関をご利用ください

【問い合わせ】 ● 免許手続きテレホンサービス ☎045 (391) 4123  
 ● 運転免許試験場 ☎045 (365) 3111

- 第53回交通安全国民運動中央大会  
1月15日(火) グランドヒル市ヶ谷・1月16日(水) 日比谷公会堂
- 公益財団法人神奈川県交通安全協会賀詞交歓会  
1月30日(水) ロイヤルホール・ヨコハマ

## 自転車安全教育指導者講習会の開催

### ～ 自転車安全教育の指導要領を学ぶ ～

神奈川県自転車安全教育推進委員会(高橋民雄委員長)では、県警交通部の協力を得て11月9日(金)、藤沢市の辻堂海浜(交通)公園で開催しました。

この講習会は、自転車利用者の交通ルール無視やマナー低下が叫ばれる中、自転車の安全利用を図り、自転車事故を防止するため、各地区が開催する自転車交通安全教室(チリリン・スクール)などで指導する人材を養成するもので、当日は、交通指導員、地区協会事務職員、市役所職員等41名が参加しました。

午前中は、県警交通総務課交通安全教育隊員からチリリン・スクールの実施要領、自転車事故の事例・実態、自転車利用者ルール違反等に関する講義の後、交差点の右折・左折の方法などの実技(基本走行)指導がありました。午後は、交通安全教育隊員による「傘さし運転」、「携帯電話を使用しながらの運転」等“危険運転”体験などの実技(応用走行)指導が行われ、最後に質疑応答が行われました。

講習終了後、西村事務局長から受講者一人ひとりに修了証が交付されました。



(指導する県警交通安全教育隊員)



藤沢市交通安全協会  
会長  
山崎 敏治さん  
やまざき としほ

藤沢市交通安全協会は、戦後間もない昭和22年10月に誕生しています。

その後、警察署の移転とともに協会の事務所も移転を繰り返しましたが、昭和58年9月から現在の藤沢警察署の前に事務所を構えています。

事務所の所在する藤沢市は、豊かな自然と濃厚な住民と古い歴史が共存しており、青海原に囲まれた江ノ島から夕日の彼方に富士山を仰ぎ見る絶景は、湘南都市藤沢を象徴する観光都市としての一面を有しています。一方、飛躍的に経済発展を続ける商業都市の顔も併せ持ち、バランスのとれた都市機能を有する湘南の中心的都市としても日々発展を続けています。

このような風光明媚な湘南の藤沢で生まれ育ち、海より広い心と温暖な気候そのままでの穏やかな性格で、人を引きつける魅力ある人格の持ち主、当安全協会の会長山崎敏治さんを紹介いたします。

会長は昭和43年、県の交通指導員として地域の子どもや高齢者など市民を悲惨な交通事故から守るための街頭活動に従事してから、その後、指導部長として当安全協会の理事、さらには副会長を歴任して平成15年5月会長に就任、藤沢市長や警察署長からの期待に応えるべく、藤沢市民の「たった一つしかない大切な命」を交通事故から

守る活動の先頭に立って当協会の発展に努め、活動歴44年の長きに渡り交通安全活動に貢献しています。

各季の交通安全運動はもちろん、通学路における児童・生徒を交通事故から守る街頭指導、交通マナーアップ教室等に取り組んでいるほか、交通警察官が、市民を悲惨な交通事故から守るため休むことなく働き続ける過酷な勤務をしていること、また、現場において危険を顧みずに職務に邁進している姿に接し、さらには会長自身、常日頃から悪質で危険な運転者を道路交通の場から排除して安全安心な交通社会を願う想いを強く抱いていること等、交通安全活動への心意気は熱く、先般発生した「ひき逃げ事件」では、情報提供を求める活動を積極的に支援して事件の早期解決に寄与し、新聞報道されたところでもあります。

去る10月3日には、これら長年の活動を通じて交通事故防止及び交通安全思想の普及・高揚に多大な貢献をしたことで、「平成24年度交通安全功労者表彰」として内閣府特命担当大臣から交通安全対策本部長表彰を受賞しました。

会長は、「藤沢市交通安全協会会長として社会に貢献できる活動が続けることが自分に残された人生の目標であり、その目標を達成するための健康と元気に働ける体力、そして自分を支えてくれる家族や協会、交通機関・団体の方々に感謝の気持ちをお忘れず。」と話しています。

今年で御年79歳、元気な体力と気力を持ち続ける会長のますますのご活躍を期待しています。

(取材協力：藤沢市交通安全協会)

## こんにちは 「逗子交通安全協会」です

来年4月に創立60周年を迎える当協会では、7代目小林会長を中心に交通指導員、推進委員、交通安全アドバイザーの皆様のお借りして、年間を通してさまざまな交通安全活動を推進しています。交通安全アドバイザーは、交通指導員や推進委員を退任したけれども、体力・気力ともまだまだ現役には負けないという、ボランティア精神旺盛な方々で構成されています。

当協会の主な事業の一つは、交通安全ポスターコンクールの開催です。6代目安達会長の発案で、交通安全意識を高めてもらうことを目的に、市内在住の小学生を対象に行われています。毎年夏休み明けに作品を募集し、秋の全国交通安全

運動期間中に、全作品を市役所に展示します。

今年で11回を数え応募数も年々増え続け、今回は619点が集まりました。第7回からは逗子市長賞と逗子警察署長賞が設けられ、賞に重みが増しました。

審査会では市長や署長、学校の先生にも審査を依頼して、優秀作品30点を選出し、その中から市長賞と署長賞が3点ずつ選ばれます。毎年力作揃いで、審査は困難を極めます。子供の視点で描かれた作品は、どれも日頃から交通安全について感じている事を素直に表現しているものが多く、見る者の心に強く訴えかけてきます。優秀作品は、逗子警察署玄関や市民まつり会場にも展示され、多くの市民の目に触れられ、交通事故防止に大いに貢献してくれています。



また、市長賞と署長賞の中から「かながわの交通」の表紙や県の交通安全対策協議会のポスターに採用されることもあり、子供達の良い励みとなっています。

今後も、このように子供達の持つ若いエネルギーの助けを借りながら、各関係機関と協力し、交通事故のない町づくりのお手伝いができるよう、更なる活動を進めていきたいと考えています。

(市川 記)

地区交通安全協会の活動紹介

～違法駐車追放キャンペーン・小学生の交通安全教室等～



**保土ヶ谷**  
 鴨居自動車学校での高齢者交通安全教室に協力、交通安全講話に続いて、点検、安全確認、ハンドル操作等の運転実技、発煙筒の使用要領等の指導を行い、高齢者の交通事故防止を呼びかけました。



**部 筑**  
 折本小学校3年生から6年生までの600人を対象に自転車の飛び出し、二人乗りなどによるスクエアドストレートを実施。自転車事故の危険性を訴え、自転車事故の防止を呼びかけました。



**田 浦**  
 「平成24年Yフェスタ」会場において、幟を立て、来場者に対し、チラシや車両掃除グッズを配布しながら、迷惑駐車、違法駐車等の危険性を訴え、その追放を呼びかけました。



**相 模 原**  
 JR相模原駅南口において、警察署、市、区の担当者等とともに、放置自転車に対してチラシを貼付するなど、違法駐車追放と自転車マナーアップを呼びかけました。



**戸 部**  
 4年連続で高齢者事故多発地域の指定を受けたことから、西区福祉大会に赴いて、高齢者事故の実態、反射材の活用等を説明しながら高齢者事故の防止を呼びかけました。



**青 葉**  
 奈良の丘小学校生徒300人に対し、正しい自転車の乗り方を指導したほか、左折巻き込み事故の危険性などにより、自転車交通安全教室を実施して自転車事故の防止を呼びかけました。



**栄**  
 桜井小学校の1年生から6年生までの333人に対し、歩行訓練、自転車の点検、乗り方、死角、内輪差急制動、危険予測等について、学年別に交通安全教室を行い、事故防止を呼びかけました。



**厚木警察署管内**  
 管内を4支部に区分し、警察署の協力を得て、支部ごとに違法駐車車両に警告ステッカーを交付しながら、違法駐車追放パトロールを実施しました。

あなたの会費が交通安全活動に役立っています

編集後記

師走の慌ただしい季節となりました。今月は「飲酒運転根絶月間」が実施されています。

飲酒運転は、平成18年に福岡県で発生した幼児3人が死亡する飲酒運転追突事故を契機として大きな社会問題となり、その後の取締りや罰則の強化等も相まって飲酒運転による死亡事故は減少傾向にあるものの、それでも心ない運転者は後を絶たず、昨今、全国では269人の方が飲酒運転による交通事故で亡くなっています。

亡くなった交通事故の中に、兵庫県加西市で小学6年生と小学2年生の兄弟が皆既月食を観測して帰る途中、飲酒運転の軽トラックに跳ねられ死亡した事故がある。珍しい天文現象に心おどらせ宇宙の世界に夢を抱いた幼い兄弟が、何の落ち度もないのに尊い命を瞬間にして奪われました。兄弟や残されたご家族のことを思うと、何とも遣り切れない強い怒りを覚えます。

飲酒運転は犯罪であり、悲惨な事故に直結する危険行為であります。このような悲劇を繰り返すことのないよう社会全体で飲酒運転根絶に向けた取り組みを推進していく必要があります。当協会は、飲酒運転根絶に向け飲酒運転の危険性、悪質性を広く県民に周知させ、家庭、職場、地域等において「飲酒運転は犯罪、絶対にしてはならない、許さない」環境づくりに積極的に取り組んでまいります。

地区協会の皆様方のご支援とご協力をよろしくお願いたします。

(N・N)